

第 41 回日本分子生物学会年会  
バイオテクノロジーセミナー 1BT16

2018 年 11 月 28 日 (水) 11:40 ~ 12:30  
第 16 会場 (パシフィコ横浜 会議センター 502)

# エレクトロポレーション法による 新規遺伝子改変動物作製法の開発と現状

ゲノム編集技術を用いた遺伝子改変は、現在多くの実験動物で行われている。そのため、簡易で高率なゲノム編集動物作製法の開発が求められている。本講演で紹介する TAKE 法および GONAD 法は、エレクトロポレーション法を用いた新しいゲノム編集動物作製法であり、従来の作製法よりもより簡易な方法としてすでに広く利用されている。

本ランチョンセミナーでは、TAKE 法および GONAD 法の開発者にゲノム編集動物作製法の開発と現状について紹介いただく。

**座長** 堀居 拓郎 先生

群馬大学 生体調節研究所 附属生体情報ゲノムリソースセンター

講演 -1 :

**演者** 金子 武人 先生

岩手大学大学院 総合科学研究科 理工学専攻

NEPA21 を用いたエレクトロポレーション法 (TAKE 法)  
によるゲノム編集動物作製の現状

講演 -2 :

**演者** 松山 誠 先生

重井医学研究所 分子遺伝部門

新規ゲノム編集マウス・ラット作製法 : rGONAD



ネッパジーン株式会社

〒272-0114 千葉県市川市塩焼3-1-6  
TEL : 047-306-7222 FAX : 047-306-7333  
E-mail : info@nepagene.jp  
URL : <http://www.nepagene.jp>